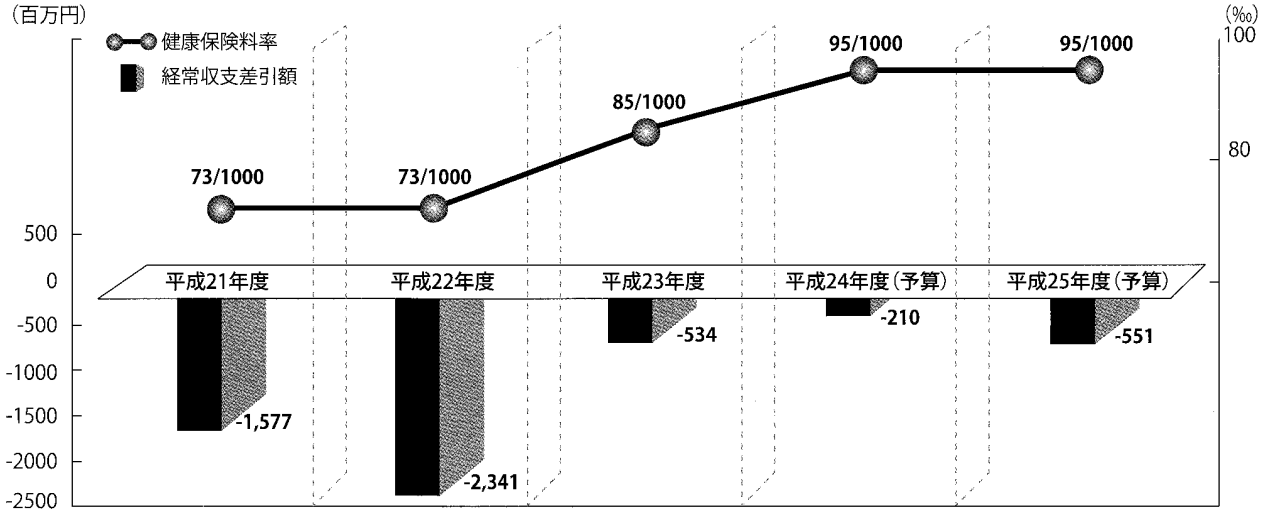


図 健康保険料率と経常収支差引額の推移

(単位：百万円)



増の3万1500人、平均標準報酬月額額は同比3232円増の3万1926円と見込みました。保険料率は前述のとおり95%を据置きとし、組合財政の財源となる保険料収入は、同比3億1100万円増となる164億円を見込みました。

また、繰越金、繰入金をあわせて6億6300万円を予算計上しています。

支出

納付金は大幅増、保健事業は充実

25年度は、被保険者数が前年度並みであること、被保険者1人当たり額が6832円減と見込まれることから、保険給付費を前年度予算比2億800万円減の82億9700万円としています。保険料収入に占める割合は、51%となっています。納付金等については、前年度を上回る伸びを示し、同比5億9200万円増の71億400万円となり、保険料収入に占める割合は、43%となっています。特に、前期高齢者納付金が、同比4億1000万円増と高い伸びを示しています。なお、保険給付費と納付金等を合わせると、保険料収入の94%となり、保険料収入のほとんどを占めています。

また、健診などの健康づくり事業を行う保健事業費は、脳検査の実施等、事業を充実させることから、同比2億4400万円増の8億9400万円を見込みました。みなさんに

収支

保険料率の据置きにより、5億5100万円の経常赤字

おかれましては、健保組合の最大のメリットである保健事業を積極的にご利用ください。

25年度は、経常収入合計164億7800万円、経常支出合計170億2800万円で、健康保険料率を据置いたことにより、差引すると前年度予算より2億1000万円多い5億5100万円の経常赤字となりました。

前年度と比較すると、経常支出合計6億2700万円増なのに対し、経常収入合計は2億8600万円増となり、この不足分を補てんする繰越金、繰入金は、あわせて3億9100万円増となりました。

現在、納付金等の算定には、3分の1の総報酬制が導入されていますが、平成27年度には全面的に総報酬制とすることが検討されています。今後、さらなる負担増が懸念されますので、みなさんにおかれましては、健診等を中心とした保健事業を積極的に活用され、医療費の削減等組合財政の健全化にご協力をお願いします。

*介護保険については4ページを参照ください。
*保健事業については5〜6ページを参照ください。